

審定稿

大臣

閣

1649

第 二 九 號

次
官

機動部隊第六號

明治三十四年八月七日

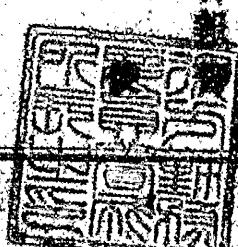
陸軍大臣
14.8.9
午後

陸軍軍

陸軍大臣板垣征四郎

明治三十四年八月七日

陸軍大臣板垣征四郎



前方機動部隊總成所乙種昇級第一期學業教育終了ノ件
十一月奉達式ヲ舉行シタルニ付照紙報告又

速送矣

陸軍大臣

軍事局長
人事局長

陸軍總長

總務部長
第二部長

1650

極 秘

2

昭和十四年七月

後方勤務要員養成所
乙種長期第一期學生教育報告

後方勤務要員養成所

第一、経過ノ一般

本教育ハ昭和十四年四月十一日防諜研究所新設ニ關スル命令ニ基キ應急的施設トシテ在九段下愛國婦人會本部附屬建物一棟ヲ借受ケテ諸準備ヲ進メタルカ同年七月十七日第一期學生十九名入所シタルヲ以テ敢ス同所ニ於テ教育ヲ開始セリ

昭和十四年三月三十一日ニ至リ在中野電信隊舊兵舎内ニ假移轉ヲ行ヒ新廳舍並講堂ノ改築完了ヲ俟テ更ニ五月一日現在地ニ移轉教育ヲ續行ス此間昭和十四年五月十一日軍令陸乙第十三號並「大臣決裁」ニ基キ防諜研究所ヲ廢止シ新ニ後方勤務要員養成所ヲ新設セラレ教育内容ノ擴充強化ヲ期セラル、コト、ナリタルカ建築物ノ關係上教育施設等未タ完備ニ至ラサル間ニ於テ卒業式ヲ舉行セリ

第二、教育實施並成果ノ概況

(一) 教育計畫

教育計畫ハ四月十一日「防諜要員教育機關ニ關スル申合」ニ基キ更

ニ 參謀本部ト協議ノ結果別表第一ノ如ク豫定表ヲ作製セリ

(二) 學期及課目ノ配合

全教育期間ヲ別テ前期（自昭和十四年七月一月）後期（至同年七月一ノ二期トシ前期教育ニ於テハ「主トシテ防諜、諜報、宣傳、謀略ノ業務上必要ナル人格ノ鍛練及右ニ應スル基礎的學術科ノ修得ヲ目途トシ學術科共機秘密事項ニ抵觸スルコト少キモノヲ選定シ後期教育ニ於テハ「前期教育ニ於ケル基礎學ト連繫シ右諸業務ノ核心タルヘキ諸課目及實務ニ對スル應用的研究」ヲ主トスル如ク配合セリ

而シテ更ニ後期末ニ於テ約一ヶ月間滿洲地方ニ實習旅行ヲ行ヒ現地諸機關ノ實情ニ接觸セシムルト共ニ既修諸課目ノ綜合的成果ヲ實習體得セシメ以テ卒業後ノ研究ニヨリ其ノ大成ヲ顧慮スルト共ニ他面卒業直後概々獨立シテ諜報、謀略、宣傳、防諜業務ノ中輕易ナル任務ヲ分擔遂行シ得ルコトヲモ庶幾セリ

(三)諜報謀略的人格ノ修練

本事項ハ軍人トシテノ人格以外ニ自ラ特殊ノ要求アル外諜報謀略ノ現地勤務特ニ獨立勤務ニ於テハ時ニ決定的意義ヲ有スルコトアルニ鑑ミ極力意ヲ用ヒタルモ所長ノ努力未タ足ラスシテ一部關係者ヲ除キテハ十分ナル理解ヲ得ルニ到ラス爲メニ施設ノ整備ヲ見シテ卒業期ヲ迎フルニ到リシハ慚愧ニ堪ヘサル所ナリ

幸ニシテ比較的優良ナルモノヲ選定シ得タルト職員ノ異常ナル奮勵トニヨリ大部ノモノハ概々上司ノ要求ニ應シ得ルノ境地ニ到リ得ヘキモノト認ム

當初ノ計畫ト實施——本問題ニ關スル往昔ノ我國ノ此種教育及武術等ニ於ケル最高ノ修練乃至ハ歐米ノ此種教育、近クハ諸先輩ノ經驗等ニ徵スルモ歸スル處ハ全然同一ノモノニシテ其ノ指導要綱ノ中イ、所謂眞ノ意味ニ於ケル各人自ラノ道場的自己修練

口、公的ハ勿論、其ノ私生活ノ一舉手一投足ノ微ニ表ハルル心境ヲ

捕捉シテ行フ學生ノ自己鍛練ノ指導

ハ、將來ノ任務遂行ニ應スル如ク私生活ノ環境ノ整理乃至施設ニ、「生キタル」自己修練ノ資料ノ供給等ハ缺クヘカラサル項目ニシテ而モ之レカ履行ハ至嚴ナラサルヘカラサルコトナリキ

之レカ爲メ入所直後三浦半島ニ水泳演習ヲ實施シタルヲ機トシ演習地ニ於ケル塾式生活ニヨル道場的修練ハ素ヨリ其ノ往復時ニ於ケル行動、處置ノ微細ナル機會迄遺憾ナク之レカ指導ニ利用シ以テ自己修練指導ノ第一歩ヲ開始シ次イテ十一月上旬ニ至ル迄九段下假廳舍内ニ起居セシメ自治行動ヲ主体トシ團結及自覺心ノ向上並忍苦克難ノ精神養成ニ努メタルカ所内ノ狹隘ト施設ノ不完備等ニ依リ新廳舍落成迄市内ノ一民家ヲ借上ケテ塾生活ヲ行ハシメ本年五月上旬新廳舍ノ移轉ト共ニ所内ニ起居セシメタリ

此間幾多ノ先輩及此種業務ニ必要ナル各業務經驗者ノ体験ヲ注入シ

タリ

右ノ他後期末ニ於ケル實習旅行ハ幾多ノ業務上ノ成果ト併セテ貴重ナル修練ノ機會ヲ得テ効果多大ナリシコトヲ確認セリ。

右ハ何レモ手段トシテ緊要ノモノナリシコトヲ確信スル他指導ハ一人ニ因ルモノニシテ將來制度化セラレタル時特ニ士官學校ノ指導程度ノ寛大サニ墮スルコトナキ如ク特ニ留意ヲ緊要ト認ム。

但シ環境特ニ將來ノ任務遂行ヲ顧慮スル所内特種設備ハ所長ノ努力不足ニシテ卒業期迄ニ整備シ得サリシコト汗顏ニ堪ヘサル次第ナリ

(四) 成果ノ概要

之レヲ要スルニ第一期學生ノ教育ハ前例ナキ特殊教育ナルト且諸種ノ原因ニ基キ實施上、相當ノ困難ニ遭遇シタルモ職員及各教官ノ熱烈ナル努力ト關係各官ノ庇護トハ如上ノ難關ト所長ノ不敏トヲ補ヒ得テ所期ノ目的ヲ達成シ得タルモノト認ム。

尙各教官方今期ノ教育ニヨリ次年度ニ對スル確信ヲ得タルコトモ亦特筆スヘキモノト認ム

(四) 教育實施ノ狀況

教育豫定實施ノ狀況ハ別表第一「第一次學生全期（前後期）教育豫定實施表」、別表第二「第一次學生前期教育豫定實施表」、別表第三「第一次學生後期教育豫定實施表」ノ如シ

第三、卒業學生ノ状況

(一) 入所學生十九名中一名ハ昭和十三年九月十五日退所（學業修習上不適任ナルニ依リ）シ十八名卒業セリ其氏名別表第四ノ如シ

(二) 入所以來事故者トシテ腸チフス患者一名發生（在滿部隊ヨリ帶患）並飲酒酩酊所規ヲ棄リタル者一名ヲ出シタル外何レモ志氣極メテ旺盛諸事積極的ニ行動シ學業ハ相當繁劇ニシテ常に就寢時間不足勝ナリシト就學上ノ施設極メテ不完備ナリシニモ拘ラズ克ク奮勵努力シ成績良好ナリト認ム就中最終實習教育時ニ於ケル講堂、旅行間ノ努力ハ異常ノ成果ヲ發揮セリ

(三) 卒業者十八名中理科系統出身者（二名）ハ技術教育ニ於テ又文科系統出身者（十二名）ハ一般筆記作業等ニ於テ夫々特徴ヲ現ハシタルカ一般ニ文科系統出身者ハ本教育ノ内容並目的ニ鑑ミ理科的智識ノ不備ヲ痛感シアリ

又中等學校出身者四名ハ教育當初ニ於テ専門學校以上ノ出身者等ニ

伍シ稍過重ノ觀アリタルモ爾來不斷ノ努力研鑽ニヨリ概未追隨シ得ルニ至レリ但シ其成績ハ一名ヲ除キ良好ナラス

第四、教職員ノ狀況ニ就テ

當所ノ專任教官ハ開所以來所長以下三名ニシテ本教育機關ノ開設内容整備ニ伴フ極メテ繁多ナル事務處理ニ任スル外專ラ學生ノ訓育、内務指導、服務教育並ニ講堂教育ニ伴フ補助的實務教育其他ノ特種教育ニ至ル迄之レヲ擔任セシムルノ止ムナキ狀況ナリシモ異常ノ奮勵ニヨリ各々所期ノ目的ヲ達成セリ

又兼任教官ハ異動其他ニ依リ一部ノ變動ヲ生シタルモ教育開始以來ノ教育實施者數ハ總員四十二名ニシテ其內容左ノ如ク教育擔任教官名簿別表第五ノ如シ

武官教官 三十三名

文官教官 一七名

嘱託教師 二名（劍、柔道）

而シテ各兼任教官ハ何レモ極メテ繁劇ナル本務ヲ有スルニ拘ラス各教官共極メテ熱心懇切ニ而モ信念ヲ以テ教育指導ニ任シ良好ナル成果ヲ收メ得タルモノト認ム

又本教育業務ニ体験ヲ有スル多數ノ先輩將校力學生ノ爲積極的ニ講話ヲ實施セラレタルハ研究上ノ示唆ヲ得タルコト多大ニシテ感謝ニ堪ヘサルトコロナリ

第五、將來ニ對スル意見ニ就テ

「教育實施ニ就テ」

(一)第一期學生教育ニ於テハ廳舍並教材等教育施設ノ不完備等ニ基因シ殆ト講堂教育ニ終始シタル爲實習教育ノ併用困難ナリシモ次期教育ニ於テハ本教育ノ目的ニ鑑ミ速ニ必要施設ヲ完備シ一面現物教育ニヨリ講堂教育ノ時間ヲ短縮シ以テ他ノ科目若ハ當該課目ノ進度ヲ進ムルト共ニ併セテ本所ノ目的ニ鑑ミ實習教育ノ徹底ヲ期スル如ク計畫立案スル要アリト認ム

(一) 本教育實施ノ經過ニ徵シ次期學生ニ對シテハ相當程度ノ戰術教育
(後方勤務ヲ含ム)ヲ實施スル要アリト認ム

自動車、通信、航空、爆破等ノ派遣實習教育ハ入所直後可及的速
ナル時機ニ於テ完了シ爾後既修技術ノ向上徹底ヲ期スル如ク教育
對策ヲ講スル要アリ本教育期間馬術教育ハ諸種ノ事由ニ依リ實施
困難ナリシモ次期教育以後ニ於テハ可及的實施ノ對策ヲ講スル要
アリト認ム

又實習旅行及水泳演習ハ其ノ計畫セル種目以外ノ收獲極メテ多大
ナリシ本期教育ノ實績ニ徵シ万難ヲ排シ實施スルノ要アリト認ム
(二) 本教育卒業者ノ將來ノ業務ニ鑑ミ語學教育ハ一層強化徹底ヲ期ス
ル要アリト認ム次期學生ニ對シテハ取敢ス蘇、支、獨、佛トシ事
情許セバ「スペイン」、「トルコ」、南洋語ヲモ顧慮スルノ要ア
リ

英語ハ本年度教育ニ徵スルニ一般ニ素養程度比較的高キヲ以テ邦

人教育者ヲ以テスル普通ノ教育方法ニテハ意味ヲ爲ササルヲ以テ全員ヲ通シテ第二語學トシ其ノ進歩ヲ期待スルヨリハ寧ロ中絶セシメサル方針ニヨルヲ可トス

二 教育資料等ニ就テ

(一) 本教育ノ本旨ニ鑑ミ勉メテ實地實物ニ就キ教育ヲ實施スル要緊切ナルモノアルヲ以テ出先ノ各軍及各國駐在武官等ニ依頼シテ教育資材ノ整備ヲ圖ルト共ニ急速ニ教育資料ヲ蒐集整備スルノ方法ヲ講スル要アリ

(二) 尚將來ノ使用ヲ顧慮スル時ハ教育實施ノ進歩ニ伴ヒ諜報、諜略關係諸資料等ノ研究的製作並破壊等ヲ必要トスルモノアルヲ以テ相當規模ノ研究場（作業場・資料室共）ヲ新設スル要アリト認ム

三 教官ノ選任ニ就テ

(一) 兼任教官ハ何レモ極メテ繁劇ナル本務ヲ有シアルヲ以テ次期教育ニ於テハ教育準備其他ニ相當ノ餘裕ヲ有スル如ク可及的速ニ教官

ヲ選任命課スル要アリ

- (二) 文官教官ノ選任ニハ相當困難ヲ伴フモノアルヲ以テ兼任文官教官ノ待遇其他ニ關シ至急對策ヲ講スル要アリト認ム
- (三) 専任教官（教職員）ハ現在人員ヲ以テシテハ教育ノ遂行上極メテ困難ナルヲ以テ速ニ編成要員ノ充足ヲ必要ト認ム
又其ノ任務遂行カ一ニ所謂「適性」ニヨリテ左右セラルコト本所職員ノ如ク甚タシキハナカルヘク此點特ニ上司ニ於テ御考慮賜ハリ度

四 豊算ニ就テ

- (一) 教育ノ内容ニ照應シ本教育ニ關スル機密保持ト教育實施資材ノ本質等ニ鑑ミ某範圍ニ於ケル經費ノ獨立的運用ヲ認メ得ル如ク上司ニ於テ配慮相成盛シ
特ニ開所後兩三年ハ豫想シ得サル各種ノ事項ニモ遭遇スルコト屢々ニシテ其間關係職員等ノ交代亦少カラサルヘク之レカ爲メ右法

規ノ運用上何等カノ便法ヲ規定相成度

學生ノ身分ニ就キテ

卒業學生ノ將來ノ身分ニ就キテハ既ニ上司及關係當局ニ於テ夫々考慮セラレアルヲ仄聞シアリト雖モ現下ノ時局ト邦家ノ對外施策ノ前途ヲ靜觀スル時更ニ其ノ實現ノ一日モ遠カナランコト眞ニ切望ニ堪ヘス敢テ繁文ヲ省ミス具申スル所以ナリ

分割撮影ターゲット

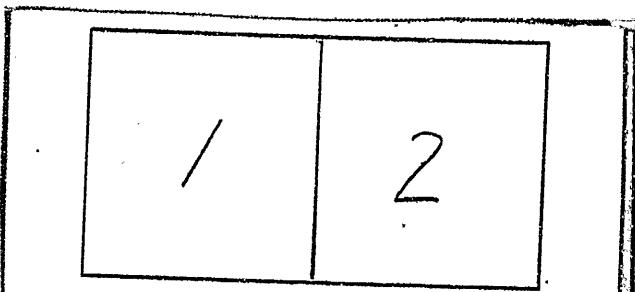
分割した部分の撮影順序	<table border="1"><tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr></table>	1	2	3	4
1	2	3	4		
分割撮影した理由	A3判以上のため				
上記のとおり分割撮影したことを証明する					
5年 / 月 21 日					
主務者又は					
撮影立会者 加藤 保夫 					

1967

1966

三月四日	科學博物館
三月一日	帝室博物館
三月一八日	鐵道博物館
三月一五日	陸軍氣象部
三月二日	伊太利展覽會 上野美術館
三月二五日	東寶見學
五月六日	橫濱稅關
五月一三日	無線電信所 （營庭・除草）
五月二十日	科學研究所 （作業）
五月二七日	無線電信所
五月三日	旭電氣化學株式會社 （豫防機種行）
六月一〇日	橫須賀海軍 （予定・通り實施）
六月一七日	科學研究所 （予定・通り實施）
六月二五日	科學研究所 （予定・通り實施）

分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A3判以上のため
上記のとおり分割撮影したことを証明する	
5年 / 月 21 日	
主務者又は	
撮影立会者 加部東 保夫 	

分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A3判以上のため
上記のとおり分割撮影したことを証明する	
5年 / 月 21 日	
主務者又は	
撮影立会者 加藤 保夫	

極秘

別表第四

特種勤務要員卒業者名簿

昭和十四年七月三十一日

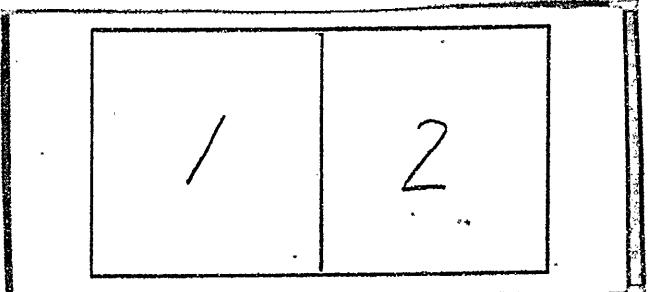
1672

學歷	階級	氏名
專校卒（日本體育專門學校）	歩少尉	杉本美義
專校卒（日本武德會專門學校）	同	丸崎義男
專校卒（熊本高工採礦冶金科）	同	牧山政義
專校卒（山口高等商業學校）	同	新澤義夫
中等校卒（鹿兒島中學校）	同	阿部智義
大學卒（立正大學文學部）	同	渡部辰治
專校卒（東京外國語學校英語科）	同	越巂直義
專校卒（布陸英語學校、東洋外語學校）	同	勝巳義
中等校卒（會津中學校）	同	伊藤義

中等校卒（本庄中學校）	騎少尉	須賀通夫
學校卒（國學院高等師範部）	同	井崎喜代太
大學卒（慶應大學理材料科）	同	菅川正之
中等校卒（慶大高等部）	同	藏山六郎
中等校卒（薩士中退、奉天中央訓練所）	砲少尉	眞井一郎
大學卒（九州帝大法文學部）	同	岡道雄
中等校卒（當崎高等農林學校）	同	扇貞雄
中等校卒（日本大學專門部法科）	騎少尉	久保田一郎
中等校卒（神港商業學校）	同	勇郎

(以上十八名)

分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A3判以上のため
上記のとおり分割撮影したことを証明する	
5年1月21日	
主務者又は	
撮影立会者 加部東 保夫 	

(海軍軍事學)	參謀本部部員	陸軍砲兵少佐解良七郎
(防諜技術)	陸軍省兵務局附	陸軍憲兵少佐曾田嶺一
(蘇語)	同	陸軍工兵大尉戸崎辰夫
(航空學)	參謀本部附	陸軍航空兵大尉鈴木將剛
(經濟謀略)	近衛師團司令部	陸軍主計中佐井戸垣浚
(經濟學)	陸軍省軍務局附	陸軍主計少佐高橋柳太
(細菌學、藥學)	陸軍軍醫學校教官	陸軍軍醫少佐北條圓了
(英語)	陸軍豫科士官學校教官	陸軍軍醫教授阿部鵬二
(國體學)	同	陸軍軍醫教授内海秀夫
(支那語)	陸軍大學校教官	陸軍軍醫教授武田寧信
(心理學)	陸軍豫科士官學校教官	陸軍軍醫教授藤木敦實
(統計學)	內閣統計局	陸軍軍醫教授西澤賴應
(犯罪手口)	講師	陸軍軍醫教授松田泰二郎
(服務)		陸軍軍醫嘱託江口治
(服務)		陸軍步兵大佐秋草俊治
(服務)		陸軍憲兵中佐福本龜治
(服務)		陸軍步兵少佐伊藤佐又
		陸軍步兵少佐治